



～知(し)てくれると嬉しいな～
難聴(なんちよう)の
8つのおはなし

こわちち(ま)にかて
水(みず)を(ま)に
ほ(た)ち(せ)く
あ(さ)い(せ)く
あ(さ)い(せ)く
あ(さ)い(せ)く



補聴器は、周りの小さな音も全て大きくするので、雑音が多い場所、人が多い場所では、言葉はほとんど聞き取れず、話しかけられてもわからないことが多くなります。決して無視しているわけではないんです。

<健聴>今日は いい天気で
気持ちいいなあ
<難聴> ようは いい 天気
いなか いい 天気



なきおつほ
かこなけち
かなえじてよ
かかないも
ねいはあき
あ
な
と

(手) 耳(みみ)の
聞こえ(きこえ)の
問題(もんだい)です。
補聴器(ほりやうき)は
音を(こゑ)を
大きく(おほ)く
する(する)ので

ねえねえと
まずは
声(こゑ)かけ
はなしやすい



話し始めの合図がないと、最初が聞き取れないことが多く、話が理解しにくくなります。まず声をかけてから話し始めてくれると嬉しいです。

聞こえにくいので、何度も聞き直すことが
多いと思いますが、受け入れてくれると嬉
しいです。文字や指文字、絵、実物などを
使ってくれると、わかりやすく助かります。

う(こ)字(じ)で(し)め(ま)す
う(こ)字(じ)で(し)め(ま)す
う(こ)字(じ)で(し)め(ま)す
う(こ)字(じ)で(し)め(ま)す
う(こ)字(じ)で(し)め(ま)す
う(こ)字(じ)で(し)め(ま)す



口(くち)みせて
はなしてくれ
わかりやすい



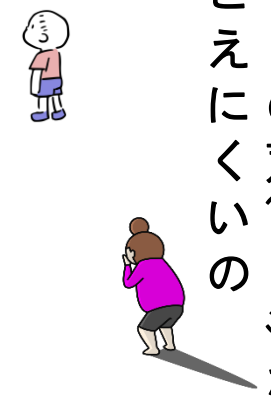
私たちは、声と口の動きを見て、言葉を読み取ります。マスクなどで口が隠れると言葉がわかりづらいですが、口の動きを見せられると、話を理解しやすいです。また、複数の人がいるときは、一人ずつ話してくれると助かります。

私たちは、聞こえる音が小さく、しかも音
でるので、しゃべり方も変わっていること
が多く、わかりづらくもありません。だけ
ど、楽しくお話したい気持ちもみんな同じ
です。一緒にお話してくれると嬉しいです。

お(み)う(し)ろ(は)ん(ま)ち(や)ろ
お(み)う(し)ろ(は)ん(ま)ち(や)ろ
お(み)う(し)ろ(は)ん(ま)ち(や)ろ
お(み)う(し)ろ(は)ん(ま)ち(や)ろ
お(み)う(し)ろ(は)ん(ま)ち(や)ろ
お(み)う(し)ろ(は)ん(ま)ち(や)ろ



しらんぷり？
ちがうよ、きいて
ほちようきは
うしろの声(こゑ)が
きこえにくい



補聴器は前の音を拾いやすく、後ろからの音を拾いにくい性質があります。決して無視してるわけじゃありません！前から声をかけてくれると嬉しいです。

8ページ手帳の作り方



①まず、A4シートの長辺を半分に折ります。



②そのまま長手方向に半分に折り、折り目をつけます。



③同じ方向に再度半分に折り、折り目をつけます。



④広げて真ん中の一部をカッターで切ります。見えにくいと思うので、切れ目を入れる詳しい場所は⑤でご確認ください。



⑤こんな感じで切ります。



⑥次は折り目を利用しながらたんでいきます。



⑦言葉で説明できませんが(笑)、こんな形に折ります。



⑧形を整えたら・・・8ページ手帳の出来上がりです！